

**「福島第一原発事故による、
魚類への放射能影響、
漁業への影響と現状」**

日時：2019年10月11日(金)16:30～18:00

**場所：水産学部マリンサイエンス棟1階
オープンスペース（交流プラザ）**

講師 福島大学環境放射能研究所

塚田祥文教授（所長）

和田敏裕准教授

高田兵衛特任准教授

福島第一原発事故による、魚類への放射能影響と漁業への影響及び現状をセミナー形式でご講演いただきます。放射線科学の基礎となる被曝線量の考え方、海洋放射能の基礎となる海洋環境についても解説してもらいます。学部生、大学院生、教職員の皆様のご参加をお待ちしています。

大学院積み上げ式特論の単位認定セミナーです。

（世話人：大木淳之、ooki@fish.hokudai.ac.jp）

講師の紹介

塚田先生

北海道大学水産学部卒業、日本分析センター、動力炉・核燃料開発事業団、環境科学技術研究所などを経て2012年福島大学環境放射能研究所に着任。陸域環境における放射性核種の存在形態や挙動に関する研究に従事。福島第一原発事故を真正面から捉え環境中における放射性核種の動態を明らかにすること、科学的で普遍性のある正しいデータを福島から発信することを目標としている。



和田先生

京都大学大学院農学研究科修了後、福島県水産試験場を経て、2015年福島大学環境放射能研究所に着任。震災前までは、福島県のカレイ類（ホシガレイやマツカワ）の生態や栽培漁業技術の向上に関する研究を行ってきた。震災後は、生息する魚類の放射性セシウム汚染についての研究に従事。汚染メカニズムの解明や将来予測に関する研究を通じて、福島県の漁業復興に寄与することを目標としている。



高田先生

北海道大学水産学部卒業、放射線医学総合研究所、海洋生物環境研究所を経て、2019年福島大学環境放射能研究所に着任。海洋での微量元素及び放射性核種の動態解明のため、フィールド調査や室内実験、分析手法の開発を行ってきた。最近では、河川から海洋にかけての放射性セシウムの溶存態－粒子態間での動き、フラックス推定についての研究も行っている。地域一般の方々や世界に向けて、正しい情報をわかりやすく発信することを目標としている。

